

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 50 ※記入不要	提案機関名 湘南地域農業改良普及センター
要望問題 カーネーションの2年切り栽培技術の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】	
<p>1 背景・内容 カーネーションの栽培農家では、カーネーションの価格低迷により経営が苦しくなっている。コストをいかに下げるか努力しており、その中で種苗費を大幅に削減できる2年切り栽培に注目している。すでに導入している農家もあるが、成功もあれば失敗もあり栽培技術は確立していない。 そこで剪定時期、剪定位置、芽の整理方法等、2年切り栽培管理技術について研究を行ってほしい。</p> <p>2 対象 JAいせはらカーネーション部会 会員8名</p>	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
研究対応区分	①研究所対応 ②委託研究 ③共同研究 ④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場） ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所（⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場） ⑨自然環境保全センター

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部 署	生産技術部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	環境負荷の少ない土壌管理技術の確立 カーネーションの熱水土壌消毒法を用いた2年切り栽培法の確立
対応の内容等	カーネーションの2年切り栽培法については、農総研では13年度から試験を開始し、現在は2年切り栽培法に向く品種7品種を選定し、切り戻し時期、剪定時期および高さに関して14年度試験成績書にとりまとめてあります。しかし、2年目の品質を向上させるための施肥法、整枝法および消毒効果の高い土壌消毒法が検討事項として残りました。これらを解決するため、15年度は環境負荷の少ない土壌管理技術として課題化して、熱水土壌消毒法および上記検討事項をふまえて2年切り栽培法の確立にむけて試験を行っております。現地の状況をふまえて試験に取り組んでいきますのでご協力お願いいたします。
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	